

真鍋式アクセントの所属語彙

中 井 幸比古

本稿は、拙稿「真鍋式アクセントについて ― 名詞を中心に ―」（『言語研究』86, 以下「別稿」）の資料篇である。金田一語彙のほぼ全部（用言の1部略，配列は金田一氏に従うが，対応するものとせぬものに分けた部分がある）と¹⁾，紙幅の許す範囲内で，1～5モーラ名詞（五十音順），用言の諸活用形（名称・用語・配列などすべて仮りのもの），用言に付く付属語を収める。

用言やそれにつく付属語のアは，各々，名詞やそれにつく付属語のア体系の中に収まる。但し，志々島では，名詞に所属語彙がみつかっていない3＝テ3型に属する語彙が，用言にはみつまっている（注116）。

真鍋島岩坪では，「単独言いきり」のアを示す。なお，言いきりのアは次のような場合に現れる。①その単語や文節が文末に置かれた場合は，1語（文節）だけの発話（何？―花。）や倒置の場合（売ったんじゃ，花を。）も含めて，必ず言いきりのアである。②概略書きことばでその後に読点が置かれるような環境では，普通「続けた」アであるが，しばしば言いきりのアも現れる。言いきりのアが現れる条件は明確ではないが，強調した場合やポーズを置く場合に多いようである。

複数の話者を調査した地点では，次の話者のアを示す（経歴等は別稿）。併せて本稿で用いる略号を示す。広（島）：山口氏，志（々島）：高島氏，佐（柳島）：黒田氏，（岩）黒（島）：岩国氏，（真鍋島岩）坪：山本サワノ氏，（真鍋島本）浦：川上氏。共（通語的），全（地点），他（地点），×（使わない）。表中，（）内は，その前の項目への注記。

音韻について，2，3述べる。セ・ゼは坪で口蓋化（黒・浦でもその傾向あり）。志・坪では文節中尾のダ・ガ行子音が〔～d，～g〕（四つ仮名の区別なく，ジ・ズの場合は鼻音化せず），他では〔d，g〕。クッ・グッは表中に示す。連母音の融合（ai→æ：など）はない。

紙面節約のために色々な手段をとったので，読みにくくなったこと，お詫びします。

その他，述べるべきことが多いが，一切省略する。

〔名詞〕

I-1類

	広	志	佐	黒	坪	浦
柄	1	1	テ0	テ0	0	0
蚊	0	1	テ0	テ0	0	0
香	×	×	×	×	×	×
カザ	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
子	1	1	テ0	テ0	0	0
瀬	0	1	テ0	テ0	0	0
血	0	1	テ0	テ0	0	0
戸	0	1	テ0	テ0	0	0
帆	1	1	テ0	テ0	0	0
緒（下駄）	0	1	テ0	テ0	0	0

I-2類

対応：全1

名葉日（太陽，日付）鵜矢。

不对応

	広	志	佐	黒	坪	浦
藻 ²⁾	1	1	テ0	テ0	1	1

I-3類

対応：全テ0

木粉酢田手菜荷根火屁穂箕目芽湯夜輪絵尾。

不对応

砥野：全×

I-X類

	広	志	佐	黒	坪	浦
毛	1	1	テ0	テ0	0	0
巢	1	1	テ0	テ0	0	0
背（身長） ³⁾	0	1	1,0	0	0	0
齒	1	1	1	1	1	1

刃	1	1	1	1	1	1
世（希，の為）	1	1	テ0	テ0	0	0

I-その他

	広	志	佐	黒	坪	浦
亥（えと） ⁴⁾	1	1	テ0	テ0	0	0
胃	1	1	テ0	テ0	0	0
卯（えと） ⁴⁾	1	1	テ0	テ0	0	0
気（が狂う）	0	1	1	1	0	0
暮	0	テ0	テ0	テ0	0	0
五 ⁴⁾	0	1	テ0	テ0	0	0
差	テ0	テ0	テ0	テ0	0	0
茶（飲み物）	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
二 ⁴⁾	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
子（えと） ⁴⁾	1	1	テ0	テ0	0	0
分（が悪い）	0	1	テ0	テ0	0	0
間（がぬける）	0	1	テ0	テ0	0	0
（居る〜に） ⁴⁾	1	1	テ0	1	1	1
巳（えと） ⁴⁾	1	1	テ0	テ0	0	0

II-1類

対応：全テ2

蟻烏賊牛⁴⁾ 梅（ンメ）魚（イオ）⁵⁾ 枝海老
柿風蟹（ガネ）金鐘壁顔釜疵釘頸腰薦
先（棒の）酒笹鯖杉裾袖竹棚爪鳥⁴⁾ 西
箱端蜂鼻羽根灰蠅（ハイ）髯膝（に）乗せ
る）⁶⁾ 紐（ヒボ）鱧蓋筆右道水峰⁷⁾ 桃
嫁棟籠株（草）胡麻薺横。

不对応

	広	志	佐	黒	坪	浦
灰汁	0	テ2	テ2	0	テ2	テ2
姉	テ2	2	テ2	テ2	テ2	テ2
飴	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0

瘡	×	×	×	×	×	×
粥（希）	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
オカイ(サン)	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
雉子	0	2	テ2	0	0	0
君（共）	0	2	0	0	0	0
桐	テ2	2	テ2	テ2	テ2	0
霧	テ2	2	テ2	テ2	0	テ2
口	テ2	テ2	テ2	0	テ2	テ2
国	0	2	0	0	0	0
鍬	0	2	0	0	0 クッー	テ0
暮(去年の)	0	2	テ2	0	テ2	テ2
籠手(希剣道)	0	2	0	0	×	0
鍔	0	2	0	0	0	0
駒（将棋）	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
独楽(ゴマ)	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
此	1	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
鷺	1	テ2	テ2	1	1	1
里（実家）	0	2	0	0	テ2	テ2
鮫	1	2	0	1'	0,1'	0
皿	テ2	テ2	テ2	0	テ2	テ2
品	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
芝	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
皺	1	1	1'	1'	1'	1
鋤	×	×	×	×	×	×
鈴	1	1	1	1	1	1
末(か楽しみ)	0	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
底	1	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
其	1	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
鷹	0	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
滝	0	2	0	0	0	0
竜 ⁴⁾	0	0	テ2	0	テ2	0

蓼	テ2	2	0	テ2	テ2	テ2
塵	0	テ2	テ2	0	テ2	テ2
筒	テ0	テ2	テ2	テ0	テ2	テ0
壺	テ2	テ2	テ2	0	テ2	テ2
釣	0	2	0	テ2	テ2	テ2
床	0	2	0	0	0	0
虎 ⁴⁾	0	テ2	テ2	テ2	テ2	0
庭（土間）	1	1	テ2	テ2	テ2	テ2
布 ⁸⁾	0	テ2	0	0	0	希0
軒 ⁹⁾	テ2	2	0	テ2	テ2	テ2
蓮	テ2	テ2	テ2	0	テ2	テ2
縁	0	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
稗	テ2	テ2	0	×	テ0	0
菱	0	2	0	0	希テ2	テ2
暇	0	テ2	テ2	テ2	0	0
鱸	テ2	テ2	0	0	テ2	0
札	0	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
藤	0	2	テ2	0	テ2	テ2
笛	0	2	テ2	0	テ2	0
臍	テ2	テ2	テ2	0	テ2	テ2
星	0	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
的	0	2	0	0	0	0
舞	0	2	0	0	0	0
宮	0	2	テ2	0	テ2	テ2
虫	0	2	0	0	0	0
粃	1	テ2	0	テ2	テ0	テ2
森	0	希2	テ2	テ2	0	0
宵	0	2	0	0	テ2	0
丘（陸）	1	1	1'	テ2	1'	テ2
甥	0	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
誰	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0

何処	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
友(希)	1	1	1'	1'	1'	1
真似	1	1	1'	1'	1'	1
仮名	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	0
甲斐(かひい)	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
蚊帳 ¹⁰⁾	0	2	0	0	0	0
城	0	テ2	テ2	0	テ2	テ2
艶	0	1	1'	0	0	1
槍	0	テ2	0	0	テ2	テ2
床	0	テ0	テ2	テ2	テ2	0
百合	テ2	テ2	0,テ2	テ2	テ2	テ2

Ⅱ-2類

対応 a : 広志浦 1, 佐黒坪 1'

痣(ほくろ)岩歌音方(様~)型川北¹¹⁾
 下棲旗機胸村八重故(希)彼(アレ)
 栗毬門(カド, 前庭。屋外の意なし)
 牙頃妻人姫為余所。

対応 b : 全 1

石垣紙旅度次茲(希)蔓梨橋肘昼冬¹²⁾
 町雪簪杭¹³⁾蟬¹⁴⁾文(希)夏。

不对応

	広	志	佐	黒	坪	浦
串	0	1	0	0	1	1
鞍	0	2	0	0	0	0
塚(希)	×	1	0	×	×	×
薦	0	1	1'	0	1'	1
業(柔道)	1	1	0	1'	1'	1
殻	1	1	1'	1'	1'	1
空	テ0	テ0	1'	テ0	1'	1
虹	0	0	0	0	1	1

Ⅱ-3類

対応 : 広佐黒坪浦 0, 志 2

垢足網泡¹⁵⁾池犬⁴⁾家¹⁶⁾芋色腕畝馬(シマ)⁴⁾
 裏鬼親神髪瓶菊岸肝(鶏肉)茎草櫛靴
 熊倉栗苔米坂銹¹⁷⁾舌¹⁸⁾塩¹⁹⁾潮¹⁹⁾島霜尻
 頸(膝頭)炭墨谷月土綱角面弟子毒年
 縄糠蚤墓刷毛鉢恥花浜腹輝(茶わんの)
 節幕桵膀耳樹脂²⁰⁾山闇指(イビ)弓夢
 脇梓綿貝糞桑玉豆姪膿²¹⁾堀店。

不对応

	広	志	佐	黒	坪	浦
明日(共)	テ0	2	0	0	0	0
綾	×	×	×	×	×	×
蛆	テ2	テ2	1	テ2	1	1
鍵	0	2	0	0	0	1
勝ち	1	1	0	1	0	0
際	0	2	1'	0	0	0
組(学校)	1	1	1	1	0	0
事(と次第)	0	2	0	0	0	0
(する~) ²²⁾	1	2, 1	0, 1'	1'	0	0
竿	テ2	2	0	0	0	0
標	0	2	テ0	0	0	0
オシメサン	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
鮪 ²³⁾	1, 0	2	0	0	0	0
芹	テ2	1	0	0	0	0
丈(タキ)	1	2	0	0	0	0
柄(希)	×	2	0	0	×	0
時(と場所)	0	2	0	0	0	0
(する~) ²²⁾	1	2, 1	0, 1	1	0	0
波	1	2	0	0	0	0
熨斗	1	1	1	1	1	1

海苔	1	2	0	0	1	1
糊	0	2	0	0	0	0
萩	1	1	1	1	1	1
撥	1	2	0	0	0	0
晴れ	テ2	1	0	0	1'	0,1
房	1	1	1'	1'	1'	1
縁	1	1	0	0	0	0
鞠	0	2	0	0	0	0
テンマル ²⁴⁾	テ0	2	×	テ0	0	0
室(希)	0	1	0	0	0	0
物(かない) ²⁵⁾	0	2	0	0	0	0
(飲む〜) ²²⁾	1	2,1	0,1'	1	0	0
腋	テ0	テ0	0	0	0	0
麻	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
孔	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
皮	テ0	テ0	0	テ0	0	0
雲	テ2	2	0	0	0	0
大刀(希)	1	1	1	1	1	1,0
鯛	1	2	0	0	0	0
塔	テ0	2	1	テ0	テ0	テ0
後	0	1,2	0	0	0	0
鰐	1	1	1	1	1	1
恋	1	1	0	1	0	0
孫	1	1	1'	1'	1'	1

II-4類

対応：全テ0

跡栗息板市[・]何時糸稻白瓜[・]櫛笠(傘も)
 糟数肩角鎌上絹杵錐管屑[・]今朝[・]今日[・]鞘[・]
 (豆)汁筋隅銭側空種罪杖中何苗²⁶⁾鑿
 箸肌針舟紅篋松味[・]噌蓑²⁷⁾麦藁桁(数)

下駄[・]槌他[・]帯外乳粒²⁸⁾宿。

不对応

	広	志	佐	黒	坪	浦
海(オミ)	テ2	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
咎(希)	×	×	0	0,1'	×	1
毘(希)	0	1,2	1'	1'	1'	1
我(2人称)	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
父	テ0	テ0	1	テ0	1	1
尼	×	×	×	×	×	×
アマサン	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
鰐	希テ0	テ0	テ0	1'	テ0	0
主(動物) ²⁹⁾	テ0	テ0	1	テ0	1	1

II-5類

対応：全テ2

秋汗[・]蛇雨[・]鮎[・]蜘蛛[・]鯉声[・]猿⁴⁾常(日常)鶴鍋
 春鮎窓³⁰⁾聾[・]桶[・]牡蠣[・]井戸[・]³¹⁾。

不对応

	広	志	佐	黒	坪	浦
藍	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
蔭	テ2	テ2	テ0	テ0	テ2	テ2
黍	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
琴	1	2	0	0	0	0
足袋	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
露	テ2	テ2	0	テ0	テ2	1
鱧 ³²⁾	テ2	テ2	テ2	1'	テ2	テ2
蛭 ³³⁾	テ2	テ2	テ2	×	×	×
前(と後ろ)	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
(以前)	1	1	1'	1'	1'	1
眉(希) ³⁴⁾	テ0	テ0	テ0	テ0	×	テ0
繭 ³⁵⁾	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0

股（希） ³⁶⁾	テ0	テ0	×	テ0	テ0	1
青	1	1	1'	1'	1'	1
赤	1	1	1'	1'	1'	1
朝	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
兄	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	1
黒	1	1	1'	1'	1'	1
白	1	1	1'	1'	1'	1
鮭	テ2	テ2	テ2	1'	テ2	1
縦	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
蛇（共） ³⁷⁾	テ2	テ2	テ2	1	テ2	1

Ⅱ-X類

	広	志	佐	黒	坪	浦
上	1	1	1'	1'	1'	1
うち（家）	1	1	1	1	1	1
先（あとと ～，将来）	1	1	1	1	1	1
下	1	1	1'	1'	1'	1
程（する～）	1	1	0	0	0	0
亀	テ2	2	0	テ2	0	0
鴨	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
蛸	0	2	0	0	0	0
鳩	0	2	0	0	0	0
今	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
夜	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
そこ	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
ここ	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
沖	0	2	0	0	0	0
奥	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
供	1	1	1'	1'	1'	1
本	0	2	0	0	0	0
元（は先生）	1	1	1'	1'	1'	1

許	0	2	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---

Ⅱ-その他

	広	志	佐	黒	坪	浦
愛	1	1	1	1	テ0	テ0
鰯	0	2	0	0	0	0
駅	1	1	1	1	1	1
お茶	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
学	0	1	0	1	0	0
火事 ³⁸⁾	1	1	1	1	1	1
歌手	1	1	1	1	1	1
ガス	1	1	1	1	1	1
缶	1	1	1	1	1	1
汽車	1	1	1'	1'	1'	1
曲	1	1	1	1	1	1
義理	0	2	0	0	0	0
金(将棋も)	1	1	1	1	1	1
銀(将棋も)	1	1	1	1	1	1
剣	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
十(ジュー)	1	テ0	1	1	1	1
(人名)						
タケ(女)	1	1	1'	1'	1'	1
トラ(女)	1	1	1'	1'	1'	1
マツ(女)	1	1	1	1	1	1
タケ(男,略称)	1	テ2	1'	1'	1'	1
トラ(男,略称)	1	テ2	1'	1'	1'	1
マツ(男,略称)	1	テ2	1	1	1	1
タケサン (男女とも)	テ3	テ2	1'	1'	1'	1
煤	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
世話	1	1	1'	1'	1'	1
デモ(希)	1	1	1'	1'	1'	1

猫	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
場所	1	1	1'	1'	1'	1
バス	1	1	1	1	1	1
パパ(父)	1	1	1'	1'	1'	1
パン	1	1	1	1	1	1
棒	0	2	1	1	1	1
本	0	2	0	0	0	0
盆(器)	0	2	1	1	1	1
(八月)	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
ママ(母)	1	1	1'	1'	1'	1
論	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0

Ⅲ-1類

	広	志	佐	黒	坪	浦
値	×	×	×	×	×	×
葵	テ0	2	0	テ0	0	テ0
筏	テ0	2	0'	テ0	0'	テ0
錨	0	2	テ2	テ2	0	0
巖	×	×	×	×	×	×
鰯	テ0	テ0	テ2	テ2	テ2	テ2
嗽い	0	2	0	0	0	0
漆	テ2	テ2	テ2	0	テ2	テ2
己(希)	0	2	0'	0	0'	0
痘	×	×	×	×	×	×
オシ ³⁹⁾	テ2	テ2	テ2	0	1	1
簪	×	×	×	×	×	×
飾	0	2	0	テ0	0	0
霞	0	2	0	0	0	0
形	1	1	1'	1'	1'	1
桂	×	×	×	×	×	×
鯉	0	2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
骸	×	×	×	×	×	×

着物 ⁴⁰⁾	0	2,テ0	テ2'	テ2'	テ2'	0
鎖	1	1	1'	1'	1'	1
轡(希)	0	2	0'	0	0'	0
位(が高い)	0	2	0	0	0	0
車	テ2	2	テ2'	0	テ2'	テ2
煙(ケブリ)	0	2	テ2	テ2	テ2	テ2
仔牛	1	テ0	0	0	0	0
今年	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
氷	1	1	1	1	0	1
小山	0	2	0'	0	0'	0
今宵	×	×	×	×	×	×
衣 (天ふら,僧)	0	2	テ2'	0	テ2'	テ2
魚 ⁴¹⁾	0	共2	共テ2	共テ2'	共テ2'	共テ2
盛(花,犬)	0	2	テ2	テ2	テ2	テ2
桜	0	2	0'	0	0'	0
悟り	0	2	0	0	0	0
障り	×	×	×	×	×	×
舅(希)	0	2	0'	0	0'	0
印	0	2	テ2	0	テ2	テ2
仕業	0	2	0'	0	0'	0
鱸	0	2	テ2	テ2	テ2	テ0
相撲	0	2	1'	1'	0	0
薪	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
畳	0	2	テ2	テ2	テ2	テ2
粽 ⁴²⁾	テ0	2	テ2	0	テ2	テ2
序	0	2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
使い	テ0	テ0	テ2	0	0	0
お使い	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
机	0	テ0	0'	0	0'	0
常盤	×	×	×	×	×	×
隣	テ0	テ0	テ2	テ2	テ2	テ2

泊り (宿泊, 希)	0	2	0	0	0	0
膠 ⁴³⁾	0	2	0'	0	0'	0
寝言	テ2	2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
望み	0	2	0	0	0	0
初め	0	2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
蓮	×	×	×	×	×	×
鼻血	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
埴輪	×	×	×	×	×	×
庇	テ2	2	0	テ0	0	0
額(共) ⁴⁴⁾	テ2	2	テ2	0	テ2	テ2
棺(希)	0	2	0	0	0	0
羊	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
日照	0	2	テ2	テ2	テ2	テ2
布海苔	テ0	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
汀	×	×	×	×	×	×
曇	テ0	テ0	0'	テ0	0'	0
港	0	2	0'	0	0'	0
深山	×	×	×	×	×	×
櫓	0	2	0'	0	0'	0
柳	0	テ2	テ2	0	テ2	テ2
寡婦(ヤマメ) ⁴⁵⁾	テ0	テ0	テ2'	テ2'	テ0	テ0
ゴケ(サン)	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
涎(共)	0	×	0'	0	0'	0
ヨーダレ	0	1	0	0	0	0
鎧	0	2	0	0	0	0
渡り (鳥の, 希)	0	2	0	0	0	0
夫	1	1	1	1	0'	1
終り	0	1	1'	0	0	1
霰(雪の)	0	テ2'	0'	テ2'	0'	0
燕薺	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
昔	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0

鏃	×	×	×	×	×	×
麴	0	2	0	0	0	0
河原	0	テ0	0'	0	0'	0
竈(共)	テ0	テ0	テ0	テ0	0'	0
クド	1	1	1'	1'	1'	1
子供	テ0	テ0	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
小鳥	0	2	0	0	0	0
障子	0	2	1	1	0	0
名前	0	2	0'	0	0'	0
昇り(上り)	0	2	0	0	0	0
幟	0	2	テ2	テ2	0	0
二十日	テ2	2	テ2'	テ2'	0, テ2'	テ2
日和 ⁴⁶⁾	0	テ2	1'	1'	テ2	テ2
二日	テ2	2	テ2'	テ2'	0'	テ2
埃	0	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
味方	0	2	0'	0	0'	0
帝(希)	0	2	0'	0	0'	0
操	0	2	0'	0	0'	0
三日	テ3	2	テ2'	テ2'	0'	テ2
都	0	2	0'	0	0'	0
六日	0	2	テ2'	テ2'	0'	テ2
息子	テ2	2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
八日	0	2	1	1	0'	0
奴(豆腐) ⁴⁷⁾	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
四日	テ3	2	テ2'	テ2'	0'	テ2
田舎	0	2	0'	0	0'	0
踊り	テ0	2	0	0	0	0

Ⅲ-2類

広	志	佐	黒	坪	浦
小豆	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
毛拔	1	テ2	テ2	テ2	テ2

二重	×	×	×	×	×	×
娘	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
三つ ⁴⁸⁾	1	1	1	1	1	1
六つ	1	1	1	1	1	1
八つ	1	1	1	1	1	1
四つ	1	1	1	1	1	1
女	1	1	1	1	1	1
オナゴ	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
二つ	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0,1'	テ0
二人	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
夕べ(昨夜)	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
ヨンベ ⁴⁹⁾	×	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
東	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2

Ⅲ-4類

対応 a：広黒浦 0，志 2，佐坪 0'

頭(アタマ)表頭(カシラ，親分)刀
 言葉宝谷間渚(希)縫目袴袋仏蓆⁵⁰⁾男
 暇団扇袷(襖)⁵¹⁾五日鉋定め白髪助け
 俵(ターラ)勤め(会社)七日(ナヌ
 カ)恐れ。

対応 b：広佐黒坪浦 0，志 2

扇颯⁵²⁾項(希)恨み鏡敵曆験(～に)
 包み唾液⁵³⁾剣光響き思い鉄林祈り硯敷
 き匂い⁵⁴⁾願い。

不对応

	広	志	佐	黒	坪	浦
明日	テ0	テ0	0'	0	0'	0
拾	0	2	0'	テ2'	0'	0
余り	0	テ0	1'	0	0	0
廐	×	×	×	×	×	×
棲処	1	1,2	テ0	1	0'	0

俘	×	×	×	×	×	×
族	×	×	×	×	×	×
軍	テ2,テ0	2	0'	1	0'	0
潮	×	×	×	×	×	×
鶉	希0	2	0,1	テ0	0'	0
境(サカエ)	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
類	×	×	×	×	×	×
鯨	0	1,テ0	0	0	0	0
痛み	0	テ0	0	テ0	0	0
昨日	1	1	1'	1'	1'	1
キニョー ⁵⁵⁾	1	1	1'	×	1'	1
住居	1	1	1'	1'	0	0
峠	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
頼み	0	2	1'	0	0	0
袂	テ2	2	0'	テ2'	0'	0
鼓 ⁵⁶⁾	希0	希2	テ2	希0	希0	希0
流れ	1	2	1'	1	1'	0
別れ	1	2	1'	0,1'	1'	1

Ⅲ-5類

	広	志	佐	黒	坪	浦
朝日	1	1	0	1'	0	0
五つ	0	2	0	0	0	0
命	0	2	0	0	0	0
神楽	0	2	0'	0	0'	0
鰯(カレー)	1	2	1'	1'	1'	1
カレ	1	2	1'	1'	1'	1
胡瓜(キュウリ)	1	2	0	0	1	1
心	1	2	1'	1'	1'	0
石榴(ジャクロ)	0	2	1	0	1	1
姿	1	2	0'	1'	0'	0
涙	0	2	0'	0	0'	0

錦	1	1	1'	1'	1'	1
情	1	1	1'	1'	1'	1
茄子(ナスビ)	テ2	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
箒	0	2	0	0	0	0
単衣	テ0	2	テ0	テ0	0'	0
火箸	テ0	テ0	0	0	0	0
枕	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
眼(希)	1	2	0'	0	0'	0
油	0	2	0'	0	0'	0
簾	1	1	1'	1'	1'	1
柱	テ2	テ2	1	1	1	1
主	1,テ0テ2	0	1	0	0	0
哀	1	1	1'	1'	1'	1
従兄弟	0	2	0'	0	0'	0
親子	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
襷	テ2	テ2	0	テ2	テ2	0
紅葉	1	1	1'	1'	1'	1
鮑	1	1	1'	1'	1'	1
山葵	1	1	1'	1'	1'	1

Ⅲ-6類

対応：全テ0

熟れ(そのうち)兎鰻蛙⁵⁷⁾ 狐雀鼠跳足
雲雀誠蚯蚓(メメズ)蓬⁵⁸⁾ 菖蒲鷗団子
田圃⁵⁹⁾ 燕⁶⁰⁾ 裸左。

不对応

	広	志	佐	黒	坪	浦
蝨(シラメ) ⁶¹⁾	テ0	テ0	×	×	テ0	テ0
芒	テ0	テ0	テ0	テ0	テ2	テ0
シノ	×	2	0	0	0	0
李	テ0	テ0	テ0	テ0	1'	1
背中 ⁶²⁾	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ0

高さ	テ0,テ2	テ0	テ0,1'	テ0	テ0	テ0
大人(共)	テ0	テ0	テ0	テ0	テ2'	テ2
オセ	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
長さ	テ0,テ2テ0	テ0,1'	テ0	テ0	テ0	テ0
広さ	テ0,テ2テ0	テ0,1'	テ0	テ0	テ0	テ0

Ⅲ-7類

対応 a：広志浦テ2，佐黒坪テ2'

兜苺島後ろ。

対応 b：全テ2

辛子⁶³⁾ 薬便り盟⁶⁴⁾ 椿病一人一う。

不对応

	広	志	佐	黒	坪	浦
蚕	1	テ2	テ2'	1	テ2'	テ2
鯨	テ2	テ2	テ2'	1	テ2'	テ2
千鳥	テ2	テ2	テ2	テ2	1'	0
卵	テ2	1	1'	1'	1'	1
鉛	(1の人も) テ2	テ2	1'	テ2	テ2	テ2
緑	テ2	2	0	0	0	0

Ⅲ-X類

間(家と家の) ⁶⁵⁾	0	2	0'	0	0'	0
(居る～) ⁶⁶⁾	1	1	0'	1	1	1
所(時と)	0	2	0'	0	0'	0
トコ(来る～) ²²⁾	0	2,1	0,1'	1'	0	0
欠伸	テ2	テ2	0	0	テ2	テ2
胡座(共) ⁶⁷⁾	0	2	0'	0	×	0
足駄	×	×	×	×	×	×
草鞋 ⁶⁸⁾	テ0	2	0	0	0	0
辺り	1	1	1'	0	0	1
あなた(共,人)	1	2	1'	1'	1'	1
嵐 ⁶⁹⁾	0	2	0	0	0	0

力	1	1	1'	1'	1'	1
二十才	1	1	1'	1'	1'	1
向う	1	1	1'	1'	1'	1
柏	×	×	×	×	×	×
鶏肉(カンフ)	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
蜥蜴 ⁷⁰⁾	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
釣瓶(ツブレ)	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
斜め	0	2	0'	0	0'	0
蕨 ⁷¹⁾	テ0	2	0	0	0	0
仲間	1	2	0'	0	1'	1
盲	0	2	0'	0	0'	0
狸 ⁷²⁾	テ2	2	1'	0	1'	1
蛭	0	2	0	0	0	0
炎 ⁷³⁾	1	1	0	1'	0	1
社	0	2	0'	0	0'	1
鳥	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
泉(井戸の意)	0	2	0	0	0	0
翁	×	希2	希1	×	×	×
栄螺	1	1	0'	0	1'	1
翼	テ2	テ2	テ2'	テ0	テ0	テ0
麓	0	2	0'	0	0'	0
御輿	1	2	0	0	0	0
南	0	2	テ2	テ2	0	0

Ⅲーその他

	広	志	佐	黒	坪	浦
相手	0	2	0'	0	0'	0
網戸	1	1	0'	1	0'	0
インド	1	1	1	1	1	1
因果	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
うどん	0	2	0	0	0	0
浮気	0	2	0	0	0	0

英語	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
笑くぼ	1	1	1	1	1	1
お芋	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
お水	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
温度	1	1	1	1	1	1
音頭	1	テ2	0	1	0	テ0
学者	1	1	1	1	1	1
火曜	テ2	テ0	0	0	1'	1
ガラス	1	1	1'	1'	1'	1
カルタ	0	2	1	1	1	1
漢字	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
ぎっちょ	テ3	1	1	1	1	1
切符	テ0	テ0	0	テ0	テ0	テ0
金魚	1	1	1	1	1	1
空気	1	1	1	1	1	1
靴屋	0	2	0'	0	0'	0
首輪	テ0	テ0	テ2'	0	テ2'	テ0
芸者	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
小石	0	テ0	0	0	0	0
碁石 ⁷⁴⁾	テ2	テ2	0	0	0	0
小犬	0	テ0	0	0	0	0
黄金	0	1	0'	0	0'	0
小熊	0	テ0	0'	0	0'	0
五十	0	2	0	0	0	0
御飯	1	1	1'	1'	1'	1
小麦 ⁷⁵⁾	1	1	1'	1'	1'	1
ゴルフ	1	1	1'	1'	1'	1
詐欺師	2	テ2	1'	1'	1'	1
さっき	テ3	テ0	1	テ2'	1	1
雑誌	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
三個	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0

三時	1	テ2	1	1	1	1
十九(ジューク)	0	3	0	0	0	0
十五	0	3	0	0	0	0
十二	2	2	0	0	0	0
水瓜	0	2	0'	0	0'	0
炊事	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
草履(ジョーリ)	テ0,0	2	0	0	1	1
その場	0	2	0'	0	0'	0
窒素	1	1	1	1	1	1
ちょっと	1	1	1	1	1	1
月見	0	2	0	0	0	0
テレビ	1	1	1'	1'	1'	1
電話	テ0	1	1	1	1	1
ドイツ	1	1	1	1	1	1
豆腐	0	2	0	0	0	0
土曜	テ2	テ0	0	0	1'	1
にきび	0	1	0	0	0	0
粘土	1	1	1	1	1	1
ばった ⁷⁶⁾	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
花見	0	2	0	0	0	0
判こ	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
ヒット(歌)	1	1	1	1	1	1
昼寝	0	2	0'	テ2'	テ0	テ2
帽子	テ0	テ0	1	0	1	1
蜜柑	1	1	1'	1'	1'	1
岬	0	1	1'	0	1'	1
ミルク	1	1	1'	1'	1'	1
みんな	テ2	2	テ2'	1	テ2'	テ2
木綿	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
夕日	1	1	1	1	1	1
ラジオ	1	1	1	1	1	1

ラッパ	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
六時	1	1	1'	1'	1'	1
割木(ワルキ)	テ0	2	テ2	テ2	テ2	テ2

IV

	広	志	佐	黒	坪	浦
挨拶	1	1	1	1	1	1
青空	0	3	0	0	0	0
赤土	3	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
アカドロ	×	テ0	テ0	×	テ0	テ0
あくる日	3	2	0	テ2'	0,テ2'	テ3
あけの日	3	2	0	テ2'	テ2'	テ3
朝顔	1	1	1'	1'	1'	1
足跡	3	2	0	0	0	0
足首	3	2	0	0	0	0
紫陽花	0	2	0	0	0	1
汗かき	テ3	テ3	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
遊び場	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
甘酒	テ2	テ0	テ0	テ0	テ2'	テ3
網元	3	3	0	0	0	0
雨ふり	テ3	テ2	0	0	0	テ3
栗餅	テ0,テ3	テ0	0	テ0,テ2'	テ2'	テ3
安全	0	3	0	0	0	0
あんパン	0	3	0	0	0	0
悪戯	テ0	テ0	0	テ0	0	0
無花果 ⁷⁷⁾	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
猪	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
胃袋	1	1	1'	1'	1'	1
因縁	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
爐つき	テ3	テ2	0	0	0	0
駅前	3	2	0	0	0	0

エプロン	1	1	1	1	1	1	釘抜き(具)	テ3	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
鉛筆	テ0	テ0	0	テ0	0	0	薬湯 ⁸²⁾	テ0	テ0	テ3'	テ0	テ2'	テ0
お祝	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	嘴	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
うどん(共) ⁷⁸⁾	テ2	テ2	1'	テ2'	1'	テ3	唇 ⁸³⁾	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
大雪	3	2	0	0	0	0	靴下 ⁸⁴⁾	0	3	0	0	0	0
お化粧	テ2	テ2	1'	1'	1'	1	蜘蛛の巣	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
お茶漬	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	黒土	希3	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
茶漬 ⁷⁹⁾	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	下駄箱	テ0	テ0	テ2'	テ0	テ0	テ3
オトツイ (一昨日)	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3	月曜	3,テ3	テ0	0	0	1	1
お握り(飯)	テ2	テ3	1'	テ2'	1'	テ3	腰痛	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
お見舞	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	小遣い	1	1	1	1	1	1
親方	3	3	0	0	0	0	裁縫	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
外国	テ0	テ0	テ0	テ0	1	テ0	盃	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
貝殻 ⁸⁰⁾	テ3	テ0	テ2'	テ2'	テ0	テ0	さびどめ ⁸⁵⁾	3	3	0	0	0	0
貝掘	0	テ0	0	0	0	0	座蒲団	テ3	2,3	1	テ2'	1	1
火葬場 ^バ	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	三角	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
金槌	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3	三千	テ3	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
かみそり	3	3	0	0	0	0	塩焼	3	3	0	0	0	0
ソリ	×	×	0	0	0	0	獅子鼻	テ2	2	1	1	1	0
火曜日 ⁸¹⁾	テ2	テ3	0	0	0	0	自転車 ⁸⁶⁾	テ2	テ2	1'	1'	1'	1
ガラス戸	3	3	0	0	0	0	じゃが芋 ⁸⁷⁾	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
缶きり	テ3	テ3	0	0	0	0	重箱	テ3	テ0	テ0	テ0	テ2'	テ3
缶詰め	0,テ0	3	0	0	0	0	生薑湯 ⁸²⁾	テ0	テ0	テ3'	テ0	テ2'	テ0
元日	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	冗談	0	2	0	0	0	0
気ちがい	テ3	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3	菖蒲湯 ⁸⁸⁾	テ0	テ0	テ3'	テ3'	テ2'	テ0
絹糸	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	白酒(どぶろく)	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
鏡台	3	2	1	1	1	1	心臓	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
兄弟	テ3	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3	水仙	0	2	0	テ2'	0	0
京都市(希)	3,1	1	0	0	0	0	水曜	3,テ3	テ0	0	0	1	1
京都	1	1	1	1	1	1	炭入れ(具)	3	3	0	0	0	0
金曜	3,テ3	テ0	0	0	1	1	税金	0	2	0	1	0	1

石炭	1	1	1	1	1	1	蛤	テ2	テ3	1'	テ2'	0	0
袖口	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3	腹痛	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
算盤	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	針金	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
大学	3	テ2	1	0	1	1	針箱	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
橙	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	半熟 ⁹¹⁾	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
竹馬(タケンマ)	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3	飛行機	テ2	テ2	1'	1'	1'	1
竹藪	3	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3	日の丸	0	1	1'	0	0	0
七夕	テ2	テ2	テ2'	テ2'	1'	1	富士山	1	1	1	1	1	1
食べ物 ^{モン}	3	3	0	0	0	0	豚肉	テ3	テ3	テ0	テ0	テ0	テ0
提灯	0	2	0	0	0	0	二人目	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
中学	テ2	テ2	1	テ2'	1	1	筆入れ	テ2	テ2	テ2	0	テ2	テ3
中国	1	テ2	1	1	1	1	船乗り	3	2	0	1'	0	0
てっぺん	0	1	0	0	0	0	風呂敷	3	3,テ2	0	0	0	0
手拭 ⁸⁹⁾	テ3	テ3	0	テ2'	0	0	褌	3	2	0	0	0	0
手袋	テ3	テ0	0	テ0	テ0	テ0	勉強	0	2	0	0	0	0
床の間	0	3	0	0	0	0	細紐(〜ヒボ)	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
土曜日	テ2	テ3	0	0	0	0	毎日	テ3	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
井	1	テ3	1	テ2'	1	1	松茸(マツタケ)	テ3	テ3	テ2'	テ2'	テ0	テ3
長靴	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	マフラー	1	1	1	1	0	1
撫子	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	0	饅頭 ⁹²⁾	0	0	0	0	0	0
ナベスケ(鍋敷)	テ2	テ3	テ2	テ2	テ2	テ3	水撒	3	テ0	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
荷車	テ2	2,テ2	1'	1'	1'	1	身じたく	1	1	0	1	1	テ3
鶏	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	道草(ミチグサ)	テ0	テ2	テ2	テ2	テ2	0
人参 ⁹⁰⁾	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	麦藁	3	テ0	0	0	0	0
姉さん	1	1	1	1	1	1	婿さん	テ2	テ0	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
残り火	3希テ0,3	0	0	0	0	0	虫くい	テ3	2	0	0	0	0
灰皿	3	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3	虫よけ	3	3	0	0	0	0
肺病	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	木曜	テ3,3	テ0	0	0	1	1
白米	1	テ2	1	1	1	1	餅つき	テ3,3	テ0	0	テ2'	0	0
鼻糞	テ2	2	テ2	テ2	テ2	テ3	もらい子	テ3	テ2	0	テ2	0	0
羽二重	1	1	1	1	1	1	約束	0	2	0	0	0	0

山草(ヤマクサ) ⁹³⁾	テ2	2	テ2	テ2	テ2	テ3
山道	3	2	0	0	0	0
夜桜	テ2	テ2	1'	1'	1'	1
四つ足	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
来年 ⁹⁴⁾	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
落第	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
両方 ⁹⁵⁾	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
ワラスベ(藁しべ) ¹⁰⁶⁾	テ3	テ0	テ0	テ2'	テ0	テ0
割箸	1	1	テ2'	1	テ2'	1
悪口	3	2	0	0	0	0

V

	広	志	佐	黒	坪	浦
アイウエオ	4	2	0	0	0	0
赤とんぼ	テ3	テ0	テ0	テ2'	テ3	テ3
赤電話	テ3	テ3	テ2'	テ2'	テ3	テ3
上がり口	テ4	テ4	テ3'	テ3'	テ3'	テ0
明盲	3	テ0	テ2'	0	テ3	テ3
朝ごはん ⁹⁶⁾	3	3	0	0	0	0
頭痛	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
油虫(蜚)	テ3	4,テ4	テ3'	テ3'	テ3'	テ4
雨やどり	3	3	0	0	0	0
雨男 ⁹⁷⁾	テ3	テ3	テ2'	テ2'	テ3'	×
洗いはり	テ0	3	0	テ0	0	0
言い伝え	0	2	0	0	0	0
胃かいよう	テ2	テ2	1'	1'	1'	1
石頭	3	テ0	0	テ2'	0	0
石拾い	3	テ0	0	テ2'	0	0
板ばさみ	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
稲光	3	テ2	0	0	テ3'	0
祝い事	0	2	0	0	0	0
インド人	テ4	4	0	テ3'	0	0

植木鉢	3	テ2	0	テ0	テ3'	0
浮き沈み	2	2	テ2'	1'	テ3'	テ3
兎小屋	テ4	4	0	テ3'	0	0
腕相撲	3	2	0	0	0	0
腕まくり	3	3	0	0	0	0
乳母車 ⁹⁸⁾	3	テ3	テ2'	テ2'	0	0
運動場 ^バ	テ0	3	0	テ0	0	0
お母さん(共)	テ2	テ2	1'	1'	1'	1
お客さん	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
お猿さん	テ2	テ2	テ2	テ2	1'	テ3
お赤飯	テ2	テ2	テ2	テ2	1'	1
お月さん	テ0	テ2,テ0	テ3'	テ3'	テ0	テ0
男の子	4	3	0	0	0	0
お年玉	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
鬼ヶ島	3	3	0	0	0	0
お日さん ^ヒ	テ2	テ2	1'	1'	1'	1
親狐	3	3	0	0	0	0
温度計	テ0	テ3	0	0	0	0
音頭取り	4	4	0	0	0	0
女の子	4	1	0	0	0	0
帰りがけ	テ0	テ0	0	テ0	0	0
帰り道	テ4	4	0	テ0	0	0
隠し金	テ4	4	0	テ3'	0	0
隠し事	テ0	3	0	テ0,テ3'	0	0
隠れん坊 ⁹⁹⁾	テ0	テ0	テ4'	テ0	テ0	テ0
柏餅 ¹⁰⁰⁾	テ4	4	テ3'	テ3'	テ3'	テ4
かたつむり ¹⁰¹⁾	テ2	3	テ4	テ2'	テ3'	0
勝ちいくさ	3	3	0	0	0	0
兜虫	テ3	4	テ3'	テ3'	テ3'	テ4
紙芝居 ¹⁰²⁾	3	テ3	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
紙袋	3	テ0	テ2'	テ2'	テ3	テ3

辛子味噌 ¹⁰²⁾	テ4	4	テ3'	テ3'	テ3'	テ4
狐色	テ0	3	0	0	0	0
切符切り	テ4	テ4	0	テ3'	テ3'	テ4
金時計	3	3	0	0	0	0
金曜日	3,テ3	テ4	0	0	0	0
菓売り	テ4	テ4	テ3'	テ3'	テ3'	テ4
菓代	テ4	テ4	テ3'	テ3'	テ3'	テ4
菓箱	テ4	テ4	テ3'	テ3'	テ3'	テ4
口げんか	3	テ2	テ2'	テ2'	テ3	テ3
国づくり	3	3	0	0	0	0
月曜日	3,テ3	テ4	0	0	0	0
鯉幟	テ3	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
粉ミルク	テ3	テ3	テ2'	テ2'	テ3'	0
胡麻油	3	テ3	テ2'	テ2'	テ3	テ3
米俵	3	3	0	0	0	0
根比べ	テ3	テ3	テ0	テ0,テ2'	テ3'	テ3
こんにちわ ¹⁰³⁾	3	テ2	1	0	1	1
桜ん坊	テ0	テ0	0	テ0	テ0	テ0
薩摩芋 ¹⁰⁴⁾	4	4	0	テ2'	0	0
再来月 ¹⁰⁵⁾	3	3	テ2	テ2	テ3'	テ3
猿回し	テ3	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
三千個	テ3	テ3	テ3	テ3	テ3	テ3
持参金	テ0	3	テ2	テ2	テ3'	テ3
ショーフ 菖蒲風呂 ¹⁰⁶⁾	テ4	4	テ3,テ3'	テ3'	テ3,テ3'	テ4
白兎	テ3	テ0	テ0	テ0	0	0
水曜日	3,テ3	テ4	0	0	0	0
好き嫌い	3	テ3	テ2	0	0	0
煤払い ¹⁰⁷⁾	希3	テ3	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
雀取り	テ4,テ3	テ4	テ3'	テ3'	テ3'	テ4
相撲取り ¹⁰⁸⁾	3	2	0	0	テ3'	0
善通寺(地) ¹⁰⁹⁾	1	2	1	1	1	0

洗面所	4	3	0	0	0	0
橙酢	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
台所	4	2	1,0	1	1	1
宝物	0	3	0	0	0	0
種子油	テ0,テ3	テ3	テ0	テ2'	0	0
垂れ流し	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
中国語	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
タバコ 土煙	3	2	テ2'	0	テ3'	0
父無子	テ3	3	0	0	0	0
テントサン(天)	1	1	1	1	1	1
泥まみれ ¹¹⁰⁾	3	3	0	0	0	0
唐辛子 ^{トン}	4	3	0	0	0,テ3'	0
ドンボーズ(丸刈)	×	テ3	テ4	テ2'	テ3'	テ3
流れ星	3	3	0	0	0	0
夏みかん	テ0	テ0	0	0	テ3'	0
握り飯	テ4	4	テ3'	テ3'	テ3'	テ4
猫柳	テ3	テ3	0	テ2'	0	0
箱枕	3	2	テ2'	テ2'	テ3	0
炊米 ^{ゴメ}	テ4	テ4	テ3'	テ3'	テ3'	テ4
はったい粉	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
羽根蒲団 ¹¹¹⁾	3	テ0	テ2,テ2'	テ2'	0	0
春休み	テ0,テ3	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
はんこ入れ ¹¹¹⁾	テ4	4	テ3,テ3'	テ3'	テ3	テ4
火消壺	3	3	0	0	0	0
雛祭り	テ3	テ0	テ3'	テ2'	テ0	テ3
不親切	2	1	1'	1'	1'	1
ふたいとこ	×	テ0	テ2	×	テ3'	テ3
二皮目	4	テ0	テ4'	テ4'	テ4'	テ4
二人づれ	テ0	テ0	テ0	テ0	0	0
不釣合	2	1	1'	1'	1'	1
古道具	テ0	テ0	テ0	テ2'	テ0	テ0

仏さん	0	テ2	0	テ0	0	0
盆踊り	テ3	テ0,テ3	テ0	テ2'	テ3'	テ3
前頭 ^{ガシラ}	テ0	テ0	テ2'	テ0	テ3	テ3
蒔きじまい	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
町はずれ	3	2,3	テ2'	0	テ3	0
右左	テ2	テ2	テ2	テ2	0	0
身ごしらえ	2	1	1'	1'	1'	1
水加減	3	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
水仕事 ⁽¹¹¹⁾	3	3	テ2,テ2'	テ2'	テ3'	テ3
水不足 ⁽¹¹¹⁾	3	テ2	テ2,テ2'	テ2'	テ3'	0
三日おき	テ4	テ4	0	テ3'	0	0
南風	3	テ2	0	0	0	0
木曜日	3,テ3	テ4	0	0	0	0
木綿糸 ⁽¹¹²⁾	テ4	テ4	テ3'	テ3'	テ3	テ4
山桜	3	テ2	テ2'	テ2'	テ3	テ3
雪だるま	テ3	テ2	テ2'	テ2'	テ3	テ3
幼稚園 ⁽¹¹²⁾	テ3	テ3	テ2'	テ2'	テ3'	テ3

〔動詞〕

a 調査語彙：終止形で示す。但し一段動詞は語尾の「ル」を略す。

a-1 対応するもの

I II（全地点・全活用形で1類と2類の区別なし）：着為似煮（タクII-1）寝居（オルはII-3）来出見。

II-1類：明く入る売る置く押す追う欠く（カゲ，志佐黒コゲ）嗅ぐ（カザムIII-1）貸す買う茹る聞く汲む消す越す敷く知る透く吸う添う焚く足す散る突く継ぐ積む摘む釣る問う飛ぶ泣く鳴

く鳴る抜く塗る乗る履く張る貼る引く弾く退く葺く踏む振る巻く舞う（眩）揉む盛る焼く止む遣る行く（イク，イタ）呼ぶ寄る沸く割る拭く向く。

II-2類：合う編む有る打つ討つ膿む（志佐オム）書く搔く勝つ飼う噛む切る食う（坪，未然形にクーン，クース，クールなど）組む繰る扱く（コゲ）漕ぐ裂く指す刺す住む澄む磨る剃る立つ断つ（裁縫）附く着く搗く照る解く研ぐ取る縋う成る生る脱ぐ縫う練るのす飲む掃く吐く剥ぐ這う吹く降る干す掘る彫る蒔く撒く待つ蒸す持つ漏る病む読む繕る酔う折る飽く。

II-3類：居（オ）る（広は1類に同じ）。

II III-1類：明（開も）け上げ当て荒れ入れ埋め植え（志佐坪イ〜）欠け（カゲ，志佐黒コゲ）替え枯れ着せ消え暮れ呉れ越え染み（シュムII-1）据え添え染め漬け抜け濡れ腫れ惚れ負け曲げ咽せ燃え瘦せ止め寄せ捨て（シ〜）借り（カルII-1）載せ。提げ。

II III-2類：壺え生き受け起き落ち（佐オッチル，オッタ，オッチン）下り掛け兼ね肥え覚め冴え締め過ぎ攻め建て垂れ解け閉じ投げ撫で舐め（ネブルIII-2）馴れ逃げ延び化け恥し晴れ毫け誉め吠え見え分け籠め詰め跳ね更（老）け見せ漏れ茹で（イ〜）。下げ。

Ⅲ－１類：上る当る荒らす洗う歌う浮ぶ
歌う送る贈る威す屈む困う困む飾る語
る（浄瑠璃）代る変る通う枯らす刻む
嫌う括る削る殺す捜す探る触る（マガ
ルⅢ－２類）晒す慕う沈む掬う救う濯
ぐ（イ～）進む畳む（タトム）違う使
う続く繋ぐ鳴らす並ぶ握る濡らす眠る
（ネブル）覗く昇る運ぶ塞ぐ振う（中
風で）曲る（cf. 触る）向う迄る結ぶ貰
う歪む（イ～）揺る沸かす渡す渡る笑
う踊る遊ぶ（アスブ）拾う（ヒラウ）
明かす散らす飛ばす外す祭る。

Ⅲ－２類：扇ぐ余る急ぐ痛む祈る祝う動
く移す移る恨む潤む起こす起こる落と
す思う泳ぐ（広以外オイグ，c. オイダ）
下ろす懸る限る担ぐ（カタグ）乾く絡
む潜る砕く挫く崩す曇る狂う好む溢す
籠る下る凌ぐ縛る絞る過す迫る叩く頼
む作る包む尖る（広トンギルⅢⅣ－２
他トギルⅢ－２）届く流す歎く靡く翺
る悩む習う憎む濁る担う（佐坪イ～）
匂う（vi, vtとも）睨む（ネ～）盗む嫉
む遣す残る計る励む挟む弾く走る孕む
（佐坪浦ハロム）光る捻る響く開く交
る戻る（広以外過去モンタ）休む雇う
許す弛む描く惜しむ返す（カヤス）帰
る（→Ⅱ－１往ぬ）解る（カヤル）透
す通る破る稼ぐ口説く滑るすます育つ
倒す直す直る延ばす払う肥る漏らす拝む。

Ⅲ－３類（全地点・全活用形で１類に同
じ）：歩く隠す這入る参る。

ⅢⅣ－１類：慌て生れ重ね固め聞え勧め
爛れ伝え並べ拵げ膨れ忘れ（全ワッセル，
広志テ３，他は規則的なア）教え（全
オッセル，広志テ３，他は規則的なア）呆
れ比べ外れ。

ⅢⅣ－２類：集め合せ覚え数え構え（準
備）崩れ調べ供え助け尋ね（広志以外
タン～）譬え務め（勤め）流れ宥め離
れ開け弘め隔て儲け乱れ別れ納め破れ
預け毀れ（メゲⅡⅢ－１）倒れ紛れ。

ⅢⅣ－３類（全地点・全活用形で１類に
同じ）：抱え隠れ支え。

Ⅳ以上は終止形の欄に示す。

a-2 対応せぬもの

漢数字は類。核の位置に非ず。△□□

○○は例外的（b以下で説明）。

広 志 佐 黒 坪 浦

Ⅱ－１

言う，結う	△	△	△	△	△	△
産む	二	二	二	二	二	二
咲く	一	一	一	一	二	一
織る	二	一	二	一	二	二
往ぬ ¹¹³⁾	□	□	□	□	□	□
死ぬ ¹¹³⁾	□	□	□	□	□	□

Ⅲ－１

^{クダ} 下す， ^{クダ} 下る	二	一	一	一	一	一
悟る（希）	一	一	一	二	一	一
積もる	一	二	一	二	一	一
望む，学ぶ	二	二	二	二	二	二
磨く	二	二	二	二	二	二

譲る ¹¹⁴⁾	二	二	一	二	一	一
終る	○	○	一	○	一	一
暮す	二	一	一	一	一	一
Ⅲ-2						
奪う(希)	二	一	一	一	一	一
構う	一	一	二	二	二	一
騒ぐ	一	一	二	一	二	二
手操る(タクル)	一	一	一	一	一	一
擱む	一	一	一	一	一	一
懐く	○	○	二	○	二	○
ひがむ	一	一	一	一	一	一
守る	一	一	一	一	二	一
迷う	二	一	二	二	二	二
選ぶ	二	二	一	二	二	二
被る(水を)	一	一	一	一	一	一
ⅢⅣ-1						
後れ	一	一	二	一	一	一
始め	二	二	一	一	一	一
亡び(希)	二	二	一	二	一	一
迎え	二	一	一	一	一	一
萎れ	二	二	二	二	二	二
纏め	二	二	二	二	二	二
ⅢⅣ-2						
絡げ	一	二	一	一	一	一
委せ	一	一	一	一	一	一
答え ¹¹⁵⁾	二	◎	二	二	二	二
痺れ	二	二	二	二	二	一
抑え	◎	◎	◎	◎	◎	◎
疲れ(共)	一	二	二	二	二	二

b 終止連体¹¹⁶⁾: 以下各類1語宛例をあげる。

	広	志	佐	黒	坪	浦
I II 着る	テ0	テ2	テ0	テ0	テ0	テ0
II-1 焼く	0,1	テ2	テ0	テ0	テ0	テ0
II-2 編む	テ0	テ2	テ0	テ0	テ0	テ0
II-3 居る	0,1	1	1	1	1	1
IIⅢ-1 開ける	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
IIⅢ-2 受ける	0	2	0	0	0	0
Ⅲ-1・3 渡す	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
Ⅲ-2 写す	0	2	0	0	0	0
ⅢⅣ-1・3 並べる	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
ⅢⅣ-2 集める	3	3	0	0	0	0
△言う	1	1	1	1	1	1
□往ぬる	1	1	1'	1'	1'	1
▣死ぬる	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
○懐く	1	1	0	1'	0	1
◎抑える	1	1	1'	1'	1'	1
Ⅳ以上の調査語彙						
集まる	3	3	0	0	0	0
謝る	3	3	0	0	0	0
落ち込む	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
噛みつく	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
枯れ出す	1	1	1'	1'	1'	1
着飾る	1	1	1'	1'	1'	1
断る	3	3	0	0	0	0
食べ出す	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
始まる	3	3	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
働く	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
踏み抜く	1	1	1'	1'	1'	1
見下だす	1	1	1	1	1	1
喜ぶ	3	3	0	0	0	0
写し終る	4	4	0	0	0	0

教えこむ テ2 テ2 テ2' テ2' テ3' テ3

C 過去

着た 1 1 1' 1' 1' 1
 焼いた¹¹⁷⁾ 1 1 1 1 1 1
 編んだ テ0 テ3 テ0 テ0 テ0 テ0
 居った 1 1 1 1 1 1
 開けた 1 1 1' 1' 1' 1
 受けた テ0 テ3 テ0 テ0 テ0 テ0
 渡した テ2 テ2 テ2 テ2 テ2 テ3
 ウタ(歌)¹¹⁸⁾ 1 1 1' 1' 1' 1
 写した 3 3 0 0 0 0
 並べた テ2 テ2 テ2' テ2' テ2' テ3
 集めた 3 3 0 0 0 0
 言うた 1 1 1 1 1 1
 往んだ¹¹⁹⁾ 1 1 1 1 1 1
 死んだ¹¹⁹⁾ 1 1 1 1 1 1
 懷いた¹¹⁹⁾ 1 1 0 1' 0 1
 抑えた¹¹⁹⁾ 1 1 1' 1' 1' 1

Ⅳ以上 (b とアの異なるもの)

落ち込んだ テ2 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3
 噛みついた テ2 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3
 食べ出した テ2 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3
 始まった 3 3 テ2' テ2' テ3 テ3
 働いた テ2 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3
 教えこんだ テ2 テ2 テ2' テ2' テ3' テ3

d 打消

着ん テ0 テ0 テ0 テ0 テ0 テ0
 焼かん テ2 テ2 テ2 テ2 テ2 テ2
 編まん 0 2 0 0 0 0
 居らん テ2 1 1' 1' 1' 1

開けん テ2 テ2 テ2 テ2 テ2 テ2

受けん 0 2 0 0 0 0

渡さん テ2 テ2 テ2' テ2' テ2' テ3

写さん 3 2 0 0 0 0

並べん テ2 テ2 テ2' テ2' テ2' テ3

集めん 3 3 0 0 0 0

言わん テ2 テ2 テ2 テ2 テ2 テ2

Ⅳ以上 (c に同じ)

落ち込まん¹²⁰⁾ テ2 テ2 テ2' テ2' テ3' テ3

噛みつかん テ2 テ2 テ2 テ2 テ3' テ3

食べ出さん テ2 テ2 テ2' テ2' テ3' テ3

始まらん 3 3 テ2' テ2' テ3' テ3

働かん テ2 テ2 テ2' テ2' テ3' テ3

教えこまん テ2 テ2 テ2' テ2' テ3' テ3

e 打消過去¹²¹⁾

着ざった 1 1 1' 1' 1' 1
 焼かざった テ2 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3
 編まざった 3 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3
 居らざった テ2 1 1' 1' 1' 1
 開けざった テ2 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3
 受けざった 3 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3
 渡さざった テ2 テ2 テ2' テ2' テ3' テ3
 写さざった 3 2 0 0 0 0
 並べざった テ2 テ2 テ2' テ2' テ3' テ3
 集めざった 3 3 0 0 0 0
 言わざった テ2 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3

f 可能自発受身¹²²⁾

着られる テ2 テ2 テ2' テ2' テ2' テ3
 焼かれる テ2 テ2 テ2' テ2' テ2' テ3
 焼ける(可) テ2 テ2 テ2 テ2 テ2 テ2

編まれる	3	3	0	0	0	0
編める(可)	0	2	0	0	0	0
居られる	テ2	1	1'	1'	1'	1
居れる(可)	テ2	1	1'	1'	1'	1
開けられる	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
受けられる	3	3	0	0	0	0
渡される	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
渡せる(可)	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
写される	3	3	0	0	0	0
写せる(可)	3	3	0	0	0	0
並べられる	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
集められる	3	3	0	0	0	0
言われる	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
言える(可)	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2

g fの過去 (f とアの変わるもののみ)

焼けた	1	1	1'	1'	1'	1
編めた	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0	テ0
居れた	1	1	1'	1'	1'	1
言えた	1	1	1'	1'	1'	1

h 使役

着さす	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
焼かす	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
編ます	0	2	0	0	0	0
居らす	テ2	1	1'	1'	1'	1
開けさす	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
受けさす	3	3	0	0	0	0
渡さす	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
写さす	3	3	0	0	0	0
並べさす	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
集めさす	3	3	0	0	0	0

言わす テ2 テ2 テ2 テ2 テ2 テ2

i 使役の過去

着さした	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3
焼かした	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3
編ました	3	2	0	0	0	0
居らした	テ2	1	1'	1'	1'	1
開けさした	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3	テ3
受けさした	3	3	0	0	0	0
渡さした	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3	テ3
写さした	3	3	0	0	0	0
並べさした	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
集めさした	3	3	0	0	0	0
言わした	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3

j 希望

着たい	テ2	1	1'	1'	1'	1
焼きたい	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
編みたい	3	2	0	0	0	0
居りたい	テ2	1	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
開けたい	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
受けたい	3	2	0	0	0	0
渡したい	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3'	テ3
写したい	3	2	0	0	0	0
並べたい	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
集めたい	3	3	0	0	0	0
言いたい	テ2	1	テ2'	テ2'	テ2'	テ3

k 希望の過去

着たかった	テ2	1	1'	1'	1'	1
焼きたかった	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
編みたかった	3	2	0	0	0	0
居りたかった	テ2	1	テ2'	テ2'	テ3'	テ3

開けたかった	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
受けたかった	3	2	0	0	0	0
渡したかった	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3'	テ3
写したかった	3	2	0	0	0	0
並べたかった	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
集めたかった	3	3	0	0	0	0
言いたかった	テ2	1	テ2'	テ2'	テ3'	テ3

1 単純接続・補助用言に続ける¹²³⁾

着て	0	2	0	0	0	0
焼いて ¹¹⁷⁾	1	1	1	1	1	1
編んで	テ0	テ3	テ0	テ0	テ0	テ0
居って	1	1	1	1	1	1
開けて	1	1	1'	1'	1'	1
受けて	テ0	テ3	テ0	テ0	テ0	テ0
渡して	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3
ウトテ(歌) ¹¹⁸⁾	1	1	1'	1'	1'	1
写して	3	2	0	0	0	0
並べて	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
集めて	3	3	0	0	0	0
言うて	1	1	1	1	1	1

m 完了¹²⁴⁾

着とる	0	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
焼いとる ¹¹⁷⁾	1	1	1	1	1	1
編んどる ¹²⁵⁾	テ3	テ3	テ3	テ3	テ2	テ3
開けとる	1	1	1'	1'	1'	1
受けとる ¹²⁵⁾	テ3	テ3	テ3	テ3	テ2	テ3
渡しとる	テ2	テ2,テ4	テ2	テ2	テ3	テ3
ウトトル ¹¹⁸⁾	1	1	1'	1'	1'	1
写しとる	3,4	2,4	0	0	0	0
並べとる	テ2	テ2,テ4	テ2'	テ2'	テ3'	テ3

集めとる	3,4	3,4	0	0	0	0
言うとる	1	1	1	1	1	1

n 完了の過去

着とった	3	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3
焼いとった ¹¹⁷⁾	1	1	1	1	1	1
編んどった ¹²⁵⁾	テ3	テ3	テ3	テ3	テ3	テ3
開けとった	1	1	1'	1'	1'	1
受けとった ¹²⁵⁾	テ3	テ3	テ3	テ3	テ3	テ3
渡しとった	テ2	テ2,テ4	テ2	テ2	テ3	テ3
ウトトッタ ¹¹⁸⁾	1	1	1'	1'	1'	1
写しとった	3,4	2,4	0	0	0	0
並べとった	テ2	テ2,テ4	テ2	テ2	テ3	テ3
集めとった	3,4	3,4	0	0	0	0
言うとった	1	1	1	1	1	1

o 仮定¹²⁶⁾

着たら	1	1	1'	1'	1'	1
焼いたら ¹¹⁷⁾	1	1	1	1	1	1
編んだら ¹²⁵⁾	テ3	テ3	テ3'	テ3'	テ2'	テ3
居ったら	1	1	1	1	1	1
開けたら	1	1	1'	1'	1'	1
受けたら ¹²⁵⁾	テ3	テ3	テ3'	テ3'	テ2'	テ3
渡したら	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3'	テ3
ウトタラ ¹¹⁸⁾	1	1	1'	1'	1'	1
写したら	3	2	0	0	0	0
並べたら	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
集めたら	3	3	0	0	0	0
言うたら	1	1	1	1	1	1

p タリ／ダリ¹²⁷⁾

着たり	1	1	1'	1'	1'	1
焼いたり ¹¹⁷⁾	1	1	1	1	1	1

編んだり ¹²⁵⁾	テ3	テ3	テ3	テ3	テ2'	テ3
居ったり	1	1	1	1	1	1
開けたり	1	1	1'	1'	1'	1
受けたり ¹²⁵⁾	テ3	テ3	テ3	テ3	テ2'	テ3
渡したり	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3'	テ3
ウトタリ	1	1	1'	1'	1'	1
写したり	3	2	0	0	0	0
並べたり	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
集めたり	3	3	0	0	0	0
言うたり	1	1	1	1	1	1

q 進行¹²⁸⁾

着よる	1	1	1'	1'	1'	1
焼っきよる	1	1	1	1	1	1
編んみよる ¹²⁵⁾	テ3	テ3	テ3	テ3	テ2'	テ3
開けよる	1	1	1'	1'	1'	1
受けよる ¹²⁵⁾	テ3	テ3	テ3	テ3	テ2'	テ3
渡っしょる	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3'	テ3
写っしょる	3	2	0	0	0	0
並べよる	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
集めよる	3	2	0	0	0	0
言いよる ¹²⁸⁾	1	1	1	1	1	1

r 進行の過去

着よった	1	1	1'	1'	1'	1
焼っきよった	1	1	1	1	1	1
編んみよった ¹²⁵⁾	テ3	テ3	テ3	テ3	テ3	テ3
開けよった	1	1	1'	1'	1'	1
受けよった ¹²⁵⁾	テ3	テ3	テ3	テ3	テ3	テ3
渡っしょった	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3	テ3
写っしょった	3	2	0	0	0	0
並べよった	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3

集めよった	3	3	0	0	0	0
言いよった	1	1	1	1	1	1

s 命令

着ー	1	1	1	1	1	1
焼け(→)	1	1	1'	1'	1'	1
編め	テ2	テ2	テ0	テ0	テ0	テ0
編めー	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
居れ(→)	1	1	1'	1'	1'	1
開け(→)	1	1	1'	1'	1'	1
受け	テ2	テ2	テ0	テ0	テ0	テ0
受けー	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2
渡せ	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
渡せー	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
写せ	0	2	0'	0	0'	0
写せー	3	2	0	0	0	0
並べ(vt)	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
並べー(vt)	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
集め	0	2	0'	0	0'	0
集めー	3	3	0	0	0	0
言え(→)	1	1	1'	1'	1'	1

t 禁止

着な	1	1	1'	1'	1'	1
焼くな	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
編むな	0	2	0'	0	0'	0
居るな	1	1	1	1	1	1
開けな	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ2
受けな	0	2	0'	0	0'	0
渡すな	テ2	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3
写すな	3	2	0	0	0	0
並べな	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3

集めな	3	3	0	0	0	0
言うな	1	1	1	1	1	1

u 意志

着よー ¹²⁹⁾	テ2,1	2,1	1'	1'	1'	1
焼こー	1	1	1'	1'	1'	1
編もー	テ2	2	0'	0	0'	0
居ろー	1	1	1'	1'	1'	1
開けよー	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
受けよー	3	2	0	0	0	0
渡そー	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
写そー	3	2,3	0	0	0	0
並べよー	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
集めよー	3	3	0	0	0	0
言おー	1	1	1'	1'	1'	1

v 「～せずに」

着ーで	1	1	1	1	1	1
焼かいで	1	テ2	1'	1'	1'	1
編まいで	テ2	テ2	1'	1'	1'	1
居らいで	1	1	1'	1'	1'	1
開けーで	1	テ2	1'	1'	1'	1
受けーで	テ2	テ2	1'	1'	1'	1
渡さいで	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3	テ3
写さいで	3	2	0	0	0	0
並べーで	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3	テ3
集めーで	3	3	0	0	0	0
言わいで	1	1	1'	1'	1'	1

w 「～しながら」

着ーもって	0	3	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
焼きもって	3	3	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
編みもって	テ0,テ3	テ0	テ0,テ2	テ2'	テ0,テ3	テ0

開けもって	3	3	テ2'	テ2'	テ3	テ3
受けもって	テ0,テ3	テ0	テ0,テ2'	テ2'	テ0,テ3	テ0
渡しもって	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3'	テ3
写しもって	3,4	2	0	0	0	0
並べもって	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
集めもって	3,4	3	0	0	0	0
言ーもって	テ0,テ3	3	テ0,テ2	テ2',テ2	テ0,テ3	テ3

x 様態

着そーな	3	2	1'	1'	1'	1
焼きそーな	3	テ3	テ2'	テ2'	テ3	テ3
編みそーな	3	3	0	0	0	0
開けそーな	3	テ3	テ2'	テ2'	テ3	テ3
受けそーな	3	3	0	0	0	0
渡しそーな	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3'	テ3
写しそーな	4	2,4	0	0	0	0
並べそーな	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3'	テ3
集めそーな	4	3,4	0	0	0	0
言ーそーな	3	テ3	テ2'	テ2'	テ3	テ3

〔形容詞〕

a 調査語彙：終止形で示すが，語尾の「イ」は略す。Ⅳ以上はbに。

a-1 対応するもの

Ⅱ：無良（エー）

Ⅲ-1 類：赤浅厚甘荒薄遅重堅暗遠軽辛。

Ⅲ-2 類：欲惜熱痛旨（美味。上手の意では1類）痒（カイー）辛臭黒強（飯）寒（サブイ）洪白狭（セバイ）高近強長早広深太細易（安）若悪青苦低。

a-2 対応せぬもの

漢数字は類

	広	志	佐	黒	坪	浦
Ⅲ-2						
多	一	一	一	二	一	一
鈍	一	一	一	一	一	一
古	一	一	一	一	一	一
脆	一	一	一	一	二	二
緩	一	一	一	一	一	一

b 終止連体：各類1語宛。aにあげなかった調査語彙もあげる。

	広	志	佐	黒	坪	浦
Ⅱ無い	テ0	テ2	テ0	テ0	テ0	テ0
Ⅲ-1 赤い ¹³⁰⁾	1	1	1'	1'	1'	1
Ⅲ-2 白い	0	2	0	0	0	0
Ⅳ-1						
悲しい ¹³¹⁾	3	1	テ2'	0	テ2'	テ3
優しい	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
宜しい	3	2	1'	0	0	0
怪しい	3	1	1'	0	テ2'	テ3
卑しい	テ2	希3	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
Ⅳ-2						
厳しい	1	1	0	1'	0	0
苦しい	3	2	0	0	0	0
詳しい	1	1	1'	1'	1'	1
恋しい	3	2	0	0	0	0
親しい	1	2	0	0	テ2'	0
涼しい	3	2	0	0	0	0
正しい	1	1	1'	1'	1'	0
楽しい	3	2	0	0	0	0
激しい	1	1	0	0	0	0

嬉しい	3	2	0	0	0	0
悔しい	3	1	0	0	0	0
淋しい	3	2	0	0	0	0
その他						
濃(コイ, コーイ)	1	1	1	1	1	1
酸(スイー)	0	2	0	0	0	0
嬉しい	3	2	0	0	0	0
黄色い	3	2	0	0	0	0
気安い	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
けむたい	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
どぎつい	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
眠たい	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
ぶ厚い	3	2	0	0	0	0

c 過去¹³²⁾

無かった	1	1	1'	1'	1'	1
赤かった	1	1	テ2'	テ2'	テ3	テ3
白かった	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3	テ3
優しかった	テ2	テ2	テ2	テ2	テ3'	テ3
涼しかった	3	2	0	0	0	0
詳しかった	1	1	1'	1'	1'	1
濃-かった ¹³³⁾	1	1	テ2'	テ2'	テ3	テ3
酸-かった ¹³³⁾	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ3	テ3

d 音便(～ナル, ナイ)¹³⁴⁾

ノー(無) ¹³⁵⁾	1	1	1	1	1	1
アコー(赤) ¹³⁰⁾	1	1	1'	1'	1'	1
シロー(白)	テ2	テ2	1'	1'	1'	1
優しい	テ2	テ2	テ2'	テ2'	テ2'	テ3
涼しい	3	2	0	0	0	0
詳しい	1	1	1'	1'	1'	1
コー(濃) ¹³³⁾	1	1	1	1	1	1

スー(酸)¹³³⁾ 1 1 1 1 1 1

e 音便(～テ)

ノーテ(無) 1 1 1 1 1 1
 アコーテ(赤)¹³⁰⁾ 1 1 1' 1' 1' 1
 シローテ(白) テ2 テ2 1' 1' 1' 1
 優しいて テ2 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3
 涼しいて 3 2 0 0 0 0
 詳しいて 1 1 1' 1' 1' 1
 濃ーて¹³³⁾ 1 1 1 1 1 1
 酸ーて¹³³⁾ 1 1 1 1 1 1

f 仮定

無かったら 1 1 1' 1' 1' 1
 赤かったら 1 1 テ2' テ2' テ3 テ3
 白かったら テ2 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3
 優しかったら テ2 テ2 テ2 テ2 テ3' テ3
 涼しかったら 3 2 0 0 0 0
 詳しかったら 1 1 1' 1' 1' 1
 濃ーかったら¹³³⁾ 1 1 テ2' テ2' テ3 テ3
 酸ーかったら¹³³⁾ テ2 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3

g ～タリ

無かったり 1 1 1' 1' 1' 1
 赤かったり 1 1 テ2' テ2' テ3 テ3
 白かったり テ2 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3
 優しかったり テ2 テ2 テ2 テ2 テ3' テ3
 涼しかったり 3 2 0 0 0 0
 詳しかったり 1 1 1' 1' 1' 1
 濃ーかったり¹³³⁾ 1 1 テ2' テ2' テ3 テ3
 酸ーかったり¹³³⁾ テ2 テ2 テ2' テ2' テ3 テ3

h 推量

無かろー 1 1 1' 1' 1' 1
 赤かろー 1 1 テ2' テ2' テ3' テ3
 白かろー テ2 テ2 テ2' テ2' テ3' テ3
 優しかろー テ2 テ2 テ2 テ2 テ3' テ3
 涼しかろー 3 2 0 0 0 0
 詳しかろー 1 1 1' 1' 1' 1
 濃ーかろー¹³³⁾ 1 1 テ2' テ2' テ3' テ3
 酸ーかろー¹³³⁾ テ2 テ2 テ2' テ2' テ3' テ3

【用言につく付属語】¹³⁶⁾

	広	佐	黒	坪	浦
ニ ¹³⁷⁾	0	0	0	0	0
ケン(理由)	1	-1'	-1'	-1'	1
ホド ¹³⁸⁾	1	-1'	-1'	-1'	1
ンジャ(のだ)	-1	-1	-1'	-1	1
グライ ¹³⁹⁾	1	-1, -1'	-1'	1	1
ケンド(逆接)	1	-1'	-1'	1	1
ノニモ ¹⁴⁰⁾	-1	-1'	-1'	1	1
ノニワ	-1	-1'	-1'	1	1
ヨーナ(ようだ)	1	-1'	-1'	1	1

注

1) 金田一語彙の中には、筆者が現在行っている京都アクセントの分布調査から、いくつか所属が問題になる単語がある。しかし本稿ではこの問題を論じる余地がない。2) 佐ンモ(テ0)。3) 志2 モーラならセー(2)。4) 列挙で数字は全1も。列挙でえとの「亥卯子巳」は佐黒で1も。またえとの列挙では、佐黒で、「牛竜猿鳥犬」は1も、「虎馬」は1'も。5) 広のみウオ(希, テ2)。cf.Ⅲ-1 魚。6) 佐ヒダ(テ2) cf.Ⅱ-3 脛。7) 志ムネ(テ2)。8) 志ンノ(テ2)。9) 佐坪オダレ(テ0), 浦オーダレ(テ0)。10) 志カヨー(2)。11) 坪浦「北風」の意では0。12) 志佐坪浦フイ(1)。13) 佐坪クエ(1')。14) 志佐セービ(1), 坪セビ(1)。15) 広佐浦アバ(0), 志アバ(2), 坪ガボ(0)。16) 佐坪浦エー(0)。17) 佐坪浦シャビ(0)。18) 佐黒ヘタ(0)。19) 佐坪ショー(0)。20) 坪浦ヤネ(0)。21) 志オミ(2), 佐オミ(0)。22) 佐は別稿注20。志は本稿注116。23) 広オスシ(テ2)が普通。24) 佐マル(0)。25) 「飲む〜」ではモン。者(モノ, モン)のアも同じ。26) 坪ナイ(テ0)。27) 坪ニーノ(テ0)。28) 佐黒坪浦ツズ(テ0)。29) 志ノシ(テ0)。30) 志モコ(テ2)。31) Ⅲ-X 泉。32) 志坪ハム(テ2), 黒ハム(1)。33) 黒坪浦ヒール(テ0)。34) マヒゲ(志テ0, 佐黒坪テ2', 浦テ2), マユゲ(広テ2)。35) 志マイ(テ0)。36) モモタブラ(広3, 佐テ2', 黒坪0), モモタブロ(志3, 浦0)。37) クチナゴ(広佐テ0, 黒浦0), クチナオ(志坪テ0)。38) 志黒坪クッジ(1)。39) 志佐坪浦オシゴロ(テ0)。40) キモン(志2・テ0, 佐テ2)。41) ウオ(Ⅱ-1)。42) 坪ツマキ(テ2)。43) ミカワ(広2, 佐坪0', 黒0)。44) フタエ(広浦テ2, 佐坪テ2'), フタイ(志2), メンテ(黒1)。45) 妻を失った男。46) ヒョーリ(佐黒1, 坪テ2)。47) 大名行列のも, 但しヤッコサン(全テ0)。48) 数詞はすべて副詞も名詞も同じ。49) 広ユンベ(テ0)。50) ミシロ(佐坪0', 浦0)。51) 夜具の意では不使。カラカミ(志2, 他0)。52) 志イッタチ(3), 佐インタチ(テ0)。53) 広ツバ(0)が普通。佐チバキ(0)。54) Ⅱ-1 カザ。55) 黒キンニョ(テ2')。56) ツツミ(佐テ2, 浦0)。佐では虎杖の茎を鼓の形にする遊びがあるので使う。57) カイル(坪浦テ0)。58) ヨゴミ(志黒テ0), ヨムギ(坪浦テ0)。59) 水田なし。佐坪浦「溝」の意。60) ツバクロ(浦テ3, 他テ2)。61) 佐黒シャメ(テ0)。62) 坪浦セナ(テ2)。63) カラセ(坪テ2')。64) タラエ(佐黒坪テ2', 浦テ2)。65) アエ(佐坪0)。66) 1-その他「間」。67) 「足(を)組む」。68) 坪ワランジ(0)。69) 佐「そよ風」の意。坪(0') 浦(0)「アラセ」で「そよ風」の意。70) 広志坪トカキ(テ2)。71) 佐ワラベナ(0)。ワラベ(坪0', 浦0)。72) 黒坪浦タノキ(アはタヌキに同)。73) 佐坪浦ホノホ(アはホノーに同)。74) 坪ゴーイシ(0)。75) 広佐坪浦コモギ(アはコムギに同)。76) 広志佐ハ

タト(テ0), 坪ハタタ(テ0), 浦ハタハタ(テ0)。77) 坪トーガキ(1)。78) 佐坪, 相補分布の例外。79) 坪浦午後の間食の意も(元来1日4食)。80) 志カンガラ(テ0)。81) 志黒坪クッ〜。82) 佐相補分布の例外。83) 佐クチビロ(テ2)。84) クツタビ(広3, 坪0)。佐黒はクツタビ(0)は地下足袋の意。85) 佐坪浦シャ〜。86) 志ジデンシャ(テ2)。87) ミツキイモ(坪テ3, 浦0)。ダイシイモ(志3, 佐0)。88) 佐黒相補分布の例外。89) テノゴイ(志テ3, 佐坪0)。90) 佐坪浦ネンジ(テ0)。91) 坪ハンチク(テ0)。92) 坪マンジ(0)。93) 裏白(植物)。94) 佐坪浦ダ〜。95) 佐リョーゴ(テ0)。96) チャノコ(志2, 坪0), アサイ(佐テ2)。97) 浦アマオトコ(0), 98) オンバグルマ(広テ4, 黒テ3')。99) 佐モーコイ(0)。100) 柏の木なく, さるとりいばらの葉を用いるが, 餅の名称としてはある。101) デンデナムシ(広4, 佐黒0, 坪テ4, 浦テ5), 志デندنゴ(4), 坪ゼゼコ(テ0), 浦デندنコ(テ3)。102) 佐は相補分布の例外。103) 志コンチワ(1)。104) たんにイモが普通。105) 佐坪浦サダ〜。106) ダッシュつきは相補分布の例外。107) 年末の大清掃。広ススハキ(テ2), 黒スストリ(テ2)。108) スモトリ(志2, 浦0)。109) 志ゼンツジ(2)。110) 〜マブレ。佐〜マグレとも。111) 佐黒は相補分布の例外も。112) 佐黒は相補分布の例外。113) イヌル, シヌル。以下この形で。114) 佐坪イ〜。115) 「疲労」(応)の意では全2類。116) 志では, 動詞・形容詞に無核型が存在しない。他で0は, 名詞同様, 志では2で対応。他でテ0は, 名詞と異なり, 志では低起式で語末に核がある型で対応: 話者の内省で, 釣る=鶴(テ2), 待つ(テ2)≡松(テ0), 完全な最小対ではないが, 裂いた(テ3)≡座板(テ0), 良(エー, テ2)≡絵(テ0)。2型の名詞を続けると, 釣る鯛〔低高高高〕, 裂いた草〔低低高高高〕。但し「事時物者所」^{モンモントコ}の場合は, 釣る事〔低高低低〕, 裂いた事〔低低高低低〕も。1単位と見て, 「事」以下のアを, 表中で便宜上「-1」とした(注22)。テ0型の名詞を続けると, 釣る船〔低高低低〕, 裂いた蓬〔低低高低低低〕。付属語を介さず, 用言などに直接つづけた場合のアも同じ。釣る言うた〔低高高高低低〕, 裂いた言うた〔低低高高低低〕。引用のト, 断定のジャをつけると, 釣ると...・待つと...・鶴と...・良(エー)と...は〔低高低〕, 松と...は〔低低低〕, 裂いたと...は〔低低高低〕など。「為る・来る」のアは「着る」に準ず。但し: 「為」は, f. セラレル(着られるのアに同じ), h. サス(志テ2, 他テ0), i. サシタ(全1) u. ショー(全1)。「来」はu. コー(全1)。117) 全で5段活用のワア行はウ音便。佐でバ・マ行はウ・撥音便の併用(規則的。cf. 中世京都方言など): オーダ(編んだ), トーダ(飛んだ)も。話者によると, 黒では, 古い人は, バ・マ行のウ音便を使うとのこと。志ではバ・マ行は撥音便のみだが, 「噛む」(コムはない)のみコンダ。サ行イ音便は全「挿いた」にのみ。118) Ⅲ以上ではウ音便に限り長音化せ

ず。またⅢのみで、ウ音便が他の音便とアが異なる点注意。ⅡⅢ－1類のうち、上一段は、佐黒坪で1 (lmnopqrstv も)。119) 他の活用形未調査の地点あり、d以下略。120) Ⅳ以上他の活用形未調査の地点あり、e以下略。121) 広～ナンダ、佐～ダッタ。表中広佐はこの形のア。122) 可能動詞以外の形でも可能の意あり。123) テ、デのあとの補助用言はアの上からは独立。「取る、持つ」は補助用言につづけると、「トテ、モテ」(ともに志テ2他テ0)。124) 「居っとる」は不使。125) 佐黒は名詞で希な型。126) バは不使。127) ～タリ、～ザッタリ(佐ダ～、広ナン～)。128) 五段活用は「音便」：カサタラ行は促、ガナバマ行は撥、ワア行はイ音便。「居りょる」は不使。佐黒で「言いよる」はイヨル(Ⅰ')も。129) 広志で、1段活用に：着ろー(広テ2志1)、開けろー(テ2)、受けろー(広3志2)、並べろー(テ2)、集めろー(3)も。また坪浦で、1段活用に：キョー(Ⅰ)、アキョー(坪Ⅰ'浦1)、ウキョー(0)、ナラビョー(坪テ2'浦テ3)、アツミョー(0)も。130) 遠・多は佐黒坪(但し黒は多をのぞく)で1。131) ツライ(Ⅲ－1類)。132) Ⅳはアの面で、終止形が①テ2、テ2'、テ3、②3、2、0、③1、Ⅰ'、の3種類に分かれる。c以下では全で対応する①優しい②涼しい③詳しいを例にとる。133) 全活用形で、酸濃はスイ～、コイ～、も。良はc, f, g, h, でエ～も。134) ナル、ナイはアの面で独立。全体が1単位になることなし。135) ～ナルでは：ナシン、ナシニ(全1。Ⅰ'に非ず)、またアコン、シロン、ヤサシン、スズシン、クワシンは、d, のア。濃・酸は未詳。136) 志で用言に無核型なく(注116)、付属語はすべて低くつくので、付属語自身のアは不明。他地点では、別稿にあげた名詞につく付属語のうち、次の用言にもつくもののアは、名詞につけた場合と同じ。カ(疑問)(但し、名詞にでも用言にでも、強調すると、佐で－Ⅰ'にも)、ト(引用、共)、ノ(準体)、シカ(限定)、ダケ(限定)、ニモ(格助＋並列)、ニワ(格助＋提題)、ノニ(準体＋格助)、ヨリ(比較)、ラシー(推定)。137) 「飲むに飲まれん」138) 「死ぬほどつらい」。名詞にでも同じア。139) 138) の「ホド」と類義で。名詞にでも同じア。また「約」の意で名詞につけても。140) 準体＋格助＋並列。

【付記】 長時間にわたり御協力賜った話者の方々に深く感謝致します。また、上野善道氏は、不備な点を指摘し、助言して下さいました。厚くお礼申し上げます。

【拙稿「真鍋島方言と佐柳島方言のアクセントについて」(本誌第1号)の訂正】

p. 22 l. 5 サナギジマ→サナギジマ。p. 23 l. 1 川上タツエ→川上タツエ。p. 24 注 41. 3～4 (方言形は「イ」)→(方言形は「イ」でアクセントが異なる) p. 26 l. ー5 石炭

深甚の謝意を表します。秋月氏は、上野氏とは独立に、この現象に気づいていて、従来の報告に不満をもっておられた。この段階で、本稿の、この部分のほとんどを書いたことを記しておく。

④筆者は、愛媛県川之江市（川之江町，川滝町，城下中^{シロシタナカ}），伊予三島市（旧真古町など^{シンコマチ}）を調査し、そのアがともに丸亀式であること（金田一1977では、1.3.5/2/4とされる。因みに、筆者の調査で、2モーラ名詞5類はテ2型だが、「牡蠣」と「蜘蛛」は例外で、0型），および「高起式」にわずかな下降があることを確認した。⑤佐藤栄作氏が、「香川県伊吹島方言のアクセント体系を考える」（『日本方言研究会第39回発表原稿集』1984）で、御自身の香川県三豊郡三野町大見と、伊吹島の「H'系列」について、報告された。

さて、その間、筆者は、別稿図1に示した地点のテープを聞きなおし、次の2つのタイプのアがあると考えようになった。

(i)香川県本土の丸亀式アと同様、たとえば、2=0型が〔54〕，3=0型が〔554〕，4=0型が〔5544〕，4=3型が〔5541〕（5が最高で1が最低。単語にも文節にも当てはまる。単独の1=0型は普通長く、長ければ2=0型に同じ。短くなることは少ないが、その場合もやや下降気味。また、筆者には、2=0型は、第2モーラがやや下降調を帯びて聞こえることがある。勿論下降の度合はわずか。秋月氏の内省では、下降調とは感じられないと言う。cf.金田一氏の広島・伊吹島アの報告）。これに該当する地点は、与島、六島、沙弥島(?)、広島青木の松下氏（金田一氏は、広島で、このタイプのアを調査されたのかも知れない。他の話者は(ii)）。他に、愛媛県川之江市、伊予三島市、新居浜市。

(ii)0型は、単独で高平調、1モーラ無核の付属語をつけると、付属語の部分がやや低。「高起式」の有核型は、核のあるモーラまで高平、それ以降は低。これに当てはまるのは、檀石島、広島の実鍋式ア（1.3/2/4/5）の話者のうちで、松下氏以外、広島の真鍋式ア（広島以外の真鍋式アについては別稿）、瀬居島（そのアは、2モーラ名詞については、玉井1965の土庄町大部のものに同じ。なお、未発表であるが、玉井氏が、瀬居島アの調査をされた旨、同氏より直接伺った）。

秋月氏にテープを聞いて頂いたところ、(i)は御自身のアに同じ、(ii)は明らかに異なり、単独では、わずかな下降は感じられないと言われた。ただ、(ii)は付属語の部分の下降の度合が、かなり大きい場合もあるのでは、とされた。地点によっては、「高起式」語末核型（その場合は「高起式」無核型が欠の可能性大）とみなさなければならない恐れも存在するが、付属語の調査が不十分な地点もあり、結論が下せずにいる（cf.別稿1.1.(ii)）。また、秋月氏に志々島のテープも聞いて頂いたところ、2=2型、3=2型などは、明らかに核による下降に聞こえると言われた。

次に、秋月氏が話して下さった内省をもとに、新居浜市の「高起式」の音調について述べる。この問題については、上野氏や佐藤氏の御発表を待ってから書くべきかとも思ったが、その調査・内省報告と秋月氏の内省とがどの程度一致するのか、非常に興味があるので、あえてここに公にすることにした。なお、筆者は、ここで述べる事柄が、先の(i)のA一般に当てはまるかと考えている。また、秋月氏は、この部分の原稿に目を通し、助言して下さい。

4 モーラまでは、上述(i)で述べたとおり。より一般的には、次のようになる。「高起式」の単語や文節は、第2モーラと第3モーラの間（但し、2モーラの、単語や文節では、1モーラと2モーラの間。また1型は除く）に、わずかな下降（1オクターブの $\frac{1}{12}$ 、たとえばミとファの間くらい。核による下降の場合は、下降の度合がはるかに大きく、それとははっきり区別される）を持つ。第3モーラ以降は、核がないかぎり、自然下降をのぞき、それ以上、下がることはない（cf.佐藤氏）。秋月氏に、1モーラずつ切って発音して頂いたときも、同様であった。

5 モーラ以上の単語や文節の例をあげる：5 = 0型〔55444〕、6 = 0型〔554444〕、7 = 0型〔5544444〕、5 = 3型〔55411〕、5 = 4型〔55441〕など。なお、語頭モーラはやや低く、〔454...〕でもよい（cf.和田氏）。

「高起式」の弁別的特徴は何であろうか。まず、京阪方言アや、真鍋式Aのように、無標の「非低起式」ととらえることはできない：みかん（1型）置く（0型）〔51154～51110〕（0は1よりさらに少し低）。cf.みかん（1型）蒔く（テ0型）〔51115～51111〕。ここでも、「高起式」のわずかな下降は一貫して残っており、低起式の音調とは区別される。なお、疑問のイントネが加わっても、同様である：「山？」（0型）は、ヤ〔5〕、マ〔45〕。なお、用言のAは、丸亀式A内部で、地点によりちがいがあ。

また、ただなだらかに下がって行くのが弁別的特徴であるとする事もできない。むしろ、以下に述べる3点から、先に述べた位置にわずかな下降が存在するのが、「高起式」の弁別的特徴（の少なくとも1つ）であると考え。

第1. 連語のAに 次のような現象が見られる：「この。」（0型）〔54〕。「鳥。」（0型）〔54〕。「石。」（1型）〔51〕。さて、「この鳥。」は、①〔5443〕（〔5454〕は不自然）が普通だが、②〔5544〕も可。「この鳥が...」（ガは無核）は、①〔54443〕が普通だが、②〔55444〕も可。「この石。」は、①〔5441〕が普通だが、②〔5541〕も可。「この石が...」は、①〔54411〕が普通だが、②〔55411〕も可。なお、「石」を、単独で〔51〕、「この～」で〔41〕と2通りに表記したが、これは表記上の制約によるもので、音程の開きそのも

のは同じ。なお、「この人」(「人」は1型〔51〕)などは〔1511〕となるが、語彙的なもので、全体が1単位のテ2型と考える。

ここで、㊦は㊥よりも結合が緊密な場合の音調だと考える(秋月氏は、早口やぞんざいな発音で現れやすいと言う)。重要なのは㊥と㊦で下がり目の位置が異なっていて、しかも話者には別のものとして意識されているということである。なお、㊦は、「この」のあとに「高起式」の文節や単語がきた場合にのみ現れる。低起式の文節や単語が来た場合は、㊦は絶対不可。「糸。」(テ0型)〔15〕(音調の詳細は後述)。「この糸。」は、㊥〔5415～5411〕のみで、㊦×〔5515～5511〕は不可。「この糸が…」は、㊥〔54155～54111〕のみで、㊦×〔55155～55111〕は不可。ここで㊦が不可なのは、「高起式」にとって重要なわずかな下降が失われるからである。脇道にそれるが、連語のアについて補っておく。(a)「飛ぶ(0型)鳥(0型)。」, (b)「鳥(0型)居るか(1型)。」, (c)「空を(テ0型)飛ぶ(0型)鳥(0型)。」, (d)「後ろを(テ2型)向くと(0型), 鳥が(0型)...」において、下線部が、㊥㊦両方の音調が可能かどうかを検討する。(d)は㊥のみ。(b)(c)はほとんど㊥のみだが、稀に㊦も可能か(内省でもはっきりしない)。(a)は、「この」をつけた場合よりは稀だが、㊦も可。とくに、「飛ぶ鳥を落とす勢い」では㊦になりやすい。要するに、結合の度合いが強いほど㊦になりがちである。但し、長さも関係しており、前の要素が2モーラ以外は、ほとんど㊦にならないようである:(e)「泳ぐ(0型)鳥(0型)。」(㊥のみ。cf.(a))。

本題に戻る。第2。丸亀式アでは、「高起式」で第2モーラに核がある型(2型)が欠けている。その理由は、「高起式」の重要な弁別の特徴である第2モーラと第3モーラの間へのわずかな下降が失われることである。また「高起式」は第1モーラがやや低くてもよいことに注意。ここで重要なのは、3型や4型...は存在するということである。即ち、少なくとも弁別的な役割を果たしているのは、(3モーラ以上では)第2モーラと第3モーラの間への下降である。

なお、文節レベルでは、2型が存在する:「山も」〔551〕(2=0型+1=-1型),しかし、秋月氏によると、この音調は非常に落ちつきが悪く、低起式の〔151〕(テ2型)や、核をずらした〔511〕(1型)としても、言えなくもない(〔554〕(0型)になることはない。cf.佐藤氏の報告による伊吹島。なお、「山」単独では0型のみ)。

別稿注6で、広島の実鍋式アにおいて2型が嫌われるという現象を、丸亀式アと結びつけたが、これはまずかった。広島は、松下氏をのぞき、第2モーラと第3モーラの間へのわずかな下降はないのだから、別の理由を考えねばならない。あるいは京都方言で2型が嫌われる理由(金田一春彦「国語のアクセントの時代的変遷」『国語と国文学』

1960, p.39 など)と関係づけられるかもしれない。

第3. 完全な1語では、1度だけしか、高起式の特徴であるわずかな下降は起こらない。しかし、㊦2語連続や、㊧結合が不完全な複合語(㊦と、㊨完全な複合語、の中間。㊧の詳細な記述は別の機会に譲る。)では、2度わずかな下降が生じることがある。：㊦全員集合(0型+0型)[5544+4433]、㊧名神高速道路(0型+5型)[5544+4433311](㊦なら1型+5型[5111+5544411]、㊨なら9型[55444444411]のはず。核による下降を、31, 41など色々に示したが、表記上の制約のため、下降の度合は、「石」(1型)[51]などと同じ。また境界の記号は仮りのもの)。協道にそれるが㊧の例の補足：第2交響曲(テ0型+3型)[155+554111](㊦ならテ2型+3型[151+554111]、㊨ならテ6型[155555111]のはず)。

ところで、高起式の弁別の特徴であるとしたわずかな下降をもっていないのに、高起式に属する型が存在する。それは1型である。1型には、それと対立するテ1型が存在しない。従って、1型においては、「高起」/低起の対立が「中和」(?)していると考えられることも可能である。要するに、上述の位置におけるわずかな下降が、一貫した「高起式」の弁別の特徴であるとしてすることができる。なお、1型にも接尾辞の「らしい」(体言の核を引き寄せる)をつけるとわずかな下降が現れる：「石らしい。」(「石」は1型)[55411]。

次に、低起式の音調について述べる。

まず、上述(i)のア(「高起式」において、3モーラ以上で第2モーラと第3モーラの間にならずかな下降があるもの。)の低起式の音調は、明らかに筆者自身の京都アと異なる。相違点をあげる。単語や文節末尾のみが高になるのではなく、徐々に上昇したり、第2モーラから高になる場合が多い(秋月氏は、ていねいな発音では、第2モーラから高が普通と言われ、筆者もそれに同意するので、それに従う)。また、その上がりかたは、京都よりも少ないのが普通で、ときに平板になることもある(cf.玉井氏)。要するに、「高起式」の弁別の特徴である、わずかな下降が存在しない(従って平板か上昇)のが、低起式の一つの弁別の特徴であると思われる。しかし、低起式には、もう一つの弁別の特徴も存在する：それは、前におかれた文節や単語よりも低く始まること(低起性)である。「この」をつけた場合、「この糸」(糸はテ0型)は、[5411~5415]から[5433~5434]で、^x[5444~5445]は不可。ここで、低起性を有するという点に関しては、京都アと類似しているが、「高起」と低起の音程の開きは、京都よりもずっと少ない感じである。筆者の耳には、ほとんど低く感じられない

ことも多い。低起式の弁別の特徴として、①非下降と②低起の、どちらが、または両方が、本質的であるかは不明である。ただ、筆者が、「高起式」／低起式を聞きわけるときには、①に着目していれば、まずまちがいなく識別できるが、②にこだわっていると識別にとまどうことがしばしばあること、秋月氏も、前に「この」などをおかなければ、糸〔45〕、〔55〕などとしても、現実にはそのような音調が現れるかどうかは別にして、低起式と聞きなすことができるとされること、をつけ加えておく。

(i)のタイプのアでは、「高起」／低起のどちらが有標かも、現在のところ不明である。かりに、低起式の弁別の特徴を「非下降」一つにしぼることができれば、低起式のほうが無標となろう。

また、(i)のタイプのアでは、2=テ0型と2=テ2型は、付属語をつけなければ区別がない（秋月氏と伊予三島市の昭5生の話者石川史朗氏などの内省）。但し、未確認の地点もあり、個人差が存在するおそれもある。なお、単独言いきりでも、付属語をつけずに直接続けた場合でも、音調は同じで、区別はない。

一方、真鍋式アや、上述(ii)のア（「高起式」で、3モーラ以上においても、第2モーラと第3モーラの間になぜかな下降が存在しないもの）の場合は、(i)とは明らかに音調が異なる。まず、テ0型は、言いきりの場合、単語・文節の末尾モーラのみが、中～高、真鍋式アの1部で上昇調になる（なお、別稿1.1.(㊦)で、広島の実鍋式アでは、言いきりで低平調になることもあったが、末尾モーラは中～高と訂正。広島の、松下氏以外の非真鍋式アと、志々島も同じ。勿論続けられれば低平調）。続けた場合は、付属語を強調しない限り、低平調である。後続する単語や文節の音調は無関係である。また、低起式有核の場合は、核のあるモーラのみが高で、あとは低である。

(i)と異なり、(ii)のタイプのアでは、「高起」／低起の区別は、筆者にとってもきわめて容易で、とまどうことはまずない。音程の開きも、京都アに似ており、低起式の場合、筆者の耳には、低平調も含めて、一貫して低く聞こえる。

また、このタイプでは、(i)と異なり、2=テ0型と2=テ2型は、単独でも区別がある（付属語なしに続けた場合、2=テ0型は低平調、2=テ2型は、第2モーラが高、ただし、真鍋式アの一部で第2モーラが上昇調。単独言いきりの場合は微妙だが、2=テ2型のほうが上昇の度合が大）。

秋月氏にテープを聞いて頂いたところ、「高起式」の場合と同様、(i)の場合は御自身のアに同じ、(ii)の場合は明らかに異なるとされた。

(ii)のタイプのアや真鍋式アは、京都アなどと同様、低起／非低起という対立として解

釈できる。

島嶼部に，1.3/2/4/5 という類の統合をしながら，「高起式」と低起式の音調に関して，(i)と(ii)の2種類が存在するのは，何を物語っているのでしょうか。

最後に，真鍋島の中学生を簡単ながら調査したことをつけ加えておく。さらに調査が必要であるが，はっきりしたN型アではなく，おそらく共通語化によって，かえって老年層よりも多型ア化しているようである。